

第11回クリーンセンター滋賀環境監視委員会会議概要

1. 日時平成20年 3月 4日(金)14:00~16:30

2. 開催場所 クリーンセンター滋賀 研修室

3. 出席者 環境監視委員

学識経験者:金谷委員

住民代表:中島茂委員、中島常浩委員、東委員、
中邨委員、中島仁史委員

事業者:平木委員、岩倉委員

滋賀県:平田委員

甲賀市:辻委員、松山委員

環境事業公社:清水委員

事務局:財団法人滋賀県環境事業公社



4. 議事概要

1. あいさつ(環境事業公社 副理事長)

委員の皆様には年度末の大変お忙しい中ご出席を賜りありがとうございます。当公社は、この春の開業を目指しクリーンセンターの施設整備を推進してまいりました。多くの皆様のご支援ご協力により現在関連施設は完成している状況です。

一方、地元との協定により開業までに完成することとされている県道南土山甲賀線の改修につきましては、甲賀県事務所建設管理部に担当いただいておりますが、今年秋の完成見込みでございます。このため当公社は一日でも早い開業を地元をお願いしているところでございますが、極めて難しい調整状況になっております。

2. 活動内容

1)施設整備状況の確認について

・現地調査

埋立地、展開検査場、管理棟(トラックスケール、漏水検知システム、監視カメラ、蛍光X線装置)、浸出水貯留槽、浸出水処理棟(処理設備、中央制御室)等を確認

・施設整備状況について(資料1)

2)維持管理について

・浸出水処理施設(資料2-1)

浸出水処理施設の維持管理について

・地下水等の水質調査(資料2-2)

供用前クリーンセンター滋賀の水質調査結果について

3)その他

・ベントナイト改良土について(資料3)

【主な意見および質疑】

＜施設整備状況について＞

・埋立時に浸出水集排水管部分はどう乗り越えるのか？

→乗り越えられるように別途、道をつくります。

・トラックは埋立地のどこまで入るのか？

→道を通って中まで入ります。

・重機も集排水管を乗り越えるのか？

→場所を決めて、乗り越えられるようにします。

・埋立委託業者は集排水管がある処分場で埋立経験のある会社か？

→安定型最終処分場を運営されている企業なので、集排水管がある処分場での埋立経験はありません。

・埋立の研修をされた方がよい。

→(財)大津産業廃棄物処理公社の経験者に研修をお願いしています。

・どこに何が埋まっているかを記録する具体的方法は？

→GPS(全地球測位システム)により管理します。埋立を行うブルドーザーに PDA(携帯情報端末)を持って乗り込み、何番(搬入管理番号)のゴミがどこに入ったか位置情報を記録します。1日の作業終了時に PDA から管理システムにデータを移して保存します。

・搬入記録はどれくらいの期間残すのか？

→施設がある限りです。ただし、監視カメラの動画は異常が無ければ上書きされていきます(6887 時間の画像蓄積が可能)。

・展開検査場のホッパの口が大きすぎるので、埋立用の公社トラックに積み込む際に廃棄物がこぼれ落ちないように何か対策を講じること。

→何か良い策を検討します。

・搬入されるトラックの高さは、道路法(4m)の高さではなく、展開検査場の持ち帰り場所の高さ(3.3m)で指定した方がよい。

→検討します。

・搬入車両は 4 トン車ということではなかったか？

→騒音・振動・大気・交通量等、予想計算をする時に過小評価をしないように小さい車で多く見積もることになっていたはずですが、通常運搬に使用されるのは 10 トン車が多いようです。

・何トン車まで持ち帰り口に入れるのか？

→10 トン車は大丈夫です。

・2 号管理用道路で、将来遮水シートを溶着するため表面に露出していたシートの劣化は大丈夫か？

→保護シートが見えているだけで、ご心配にはおよびません(施工業者回答)。

＜浸出水処理施設および地下水等水質調査について＞

・資料 2-1 について、原水でダイオキシン濃度がこんなに高くなるのか？

→埋立する廃棄物の種類により水質は大きく変化しますので、最大限見積もった場合ありえるということです。

・資料 2-2 について、地下水観測井 M-2 のデータが今後バックグラウンドデータとなるのか？

→今後 M-2(3)が最下流の観測井になりますが、M-2 のデータがバックグラウンドデータとして使用できるかは M-2(3)のデータ数が少ないのでまだわかりません。



<ベントナイト改良土について>

・ベントナイトの混合率が当初計画の 10%から 8.5%になってしまったけれども、透水係数 10^{-6} cm/s 以下という仕様に対し、 10^{-8} ~ 10^{-9} cm/s の高い性能があつて問題ないという報告なのか？

→その通りです。

・ベントナイト混合率 10%の仕様で発注したのではないのか？

→仕様は、“透水係数 10^{-6} cm/s 以下”であり、土の善し悪しでベントナイト混合率を増減するということでした。当初から 8.5%にしておけば良かったのですが、変更の報告が公社にされていなかったということです。

・透水試験用の試料採取のために穴を開けた部分はどのように補修したのか？

→きちんとベントナイトで戻しました。

* 次回の環境監視委員会は開業の1~2ヶ月前に開催予定。

<現地確認>



埋立地



展開検査場



管理棟



浸出水処理施設